



## 和歌山大学附属図書館メールマガジン

第9号

平成19年10月19日

図書館からのお知らせ

= 開館時間の変更 =

10月1日より開館時間が次のとおりになります。

平日 9:00～20:30

土曜日 10:00～17:00

日曜日開館の試行について

10月から翌年2月まで、日曜日の隔週開館を試行いたします。

・開館日・開館時間

開館日：10/7・21、11/11・25、12/9・23、1/13・27、2/3

開館時間：10:00～16:00

・サービス

資料（図書・雑誌）の閲覧

図書の貸出・返却（当館利用証をお持ちの方）

マルチメディア資料（DVD資料）の館内での視聴

利用証の申込み

なお、身分を証明するものを持参ください。

夏季期間中の中高生の図書館利用状況

実施期間：平成19年8月1日（水）～31日（金）

除）土曜・日曜・13日（月）～15日（水）

利用状況

	利用者実数	利用者延べ人数
中学生	5(3)	5(3)
高校生	16(6)	18(6)
計	21(9)	23(9)

（ ）は、女子の内数です。



## ライブラリー・コンサートのお知らせ

附属図書館の1階において、下記のとおりライブラリー・コンサートを開催いたします。  
お昼のひとつき、生演奏をお楽しみください。

開催日：平成19年11月7日（水） 12：30～13：00

会場：附属図書館1階・展示・掲示コーナー

内容：1.ヴォーカル・アンサンブル  
2.COMBO演奏



## オンラインデータベースの案内

今回は、『JapanKnowledge』です。

JapanKnowledgeは、百科事典・辞書・ニュース・学術サイトURL集などを集積した日本最大の知識データベースです。「日本大百科全書(ニッポニカ)」、「デジタル大辞泉」、「会社四季報」等30以上のコンテンツが利用可能です。

利用するには、図書館のホームページから「電子ジャーナル・DB」をクリックし、本学が購入しているデータベースのところの「JapanKnowledge」をクリックしてください。  
(和歌山大学構内に設置しているパソコンで利用できます。)

アドレスはこちら <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>



「教養科目の授業から感じたこと」

今年度から教養科目「生活科学」を分担することになり、今年 6 月中旬から衣生活領域に関する内容を 5 回にわたって授業する機会を得た（ただし今年度は、授業の 1 回分を南カロライナ州立大学からの招聘教員による講義に充てたので、実質 4 回分が衣生活の内容であった）。評価のためのレポート課題は、学部を超えて受講しているそれぞれの学生が自分自身の興味関心に基づいて仕上げる事が出来るように、(1) 衣生活に関連していること、そして(2) 講義内容とどのような接点を持っているか説明することとし、独自性のあるテーマを評価すると説明した。また、レポートの最後には、複数冊の本または雑誌を必ず参考文献としてあげること課題条件とした。

講義関連の書籍については、シラバスに記載した参考書およびそれ以外にも複数冊の書籍を 1 回目の講義時に紹介したので、参考文献の糸口は示したつもりだ。レポート提出時期は前期授業終了後であったので、受講生は附属図書館の利用方法をすでに理解しているはずである。文献の検索も図書館ですでに体験しているであろうことから、どんな文献を学生が参考にしてくれるか、またレポートのテーマに独自色をどの程度発揮してくれるのかをレポートを受け取るにあたっては楽しみにしていた。

最近では、学生諸君にレポートを課すと、インターネットからの情報だけを参考にしてレポートが書かれる場合が多い。本学の学生に限ったことではない。学生はインターネットの情報をコピー&ペーストすることによって、簡単に文書ファイル(レポート)にそれを写し取る。図表だけでなく文章も、である。誠に教員泣かせである。それだから、複数冊の参考文献をレポートに課した。

結果的に、レポートのテーマとして最も多かったのは、『クールビズ』に関するものであった。このテーマは、猛暑の今夏に授業で取り上げた内容でもあったし、それがもっとも身近な関心事であったのかもしれないが、残念ながらそこに独自色はあまりみられなかった。必ずと言っていいほど、『クールビズ』の定義に Wikipedia の内容を記載していたからである。衣生活領域の専門家がその定義をみると、かなり私企業の思いが込められた文章であったと感じている。次回からは、レポート課題を提示する際に、この点についても前もって受講生に注意しておくことを学んだ。

学生の中には、レポートの最初に「本を探したが、図書館の本は貸し出されていて手に入らなかった」と書いている者もあった。確かに、授業で紹介した本の数は限られているので、それらの本を探しても図書館ですでに貸し出し中であったかもしれない。受講生はレポートを書くために、関連する文献をどのように検索したのだろうか？と思った。近年の学生の特徴として、応用が利かないことも感じた。だが、学生にだけ責任転嫁してはいけない。大学附属図書館として、利用者の皆様にさらに情報発信をしていかなければならないのだと、今年 6 月 15 日から副図書館長として仕事をすることになって、最近しみじみと感じている。

(副館長 今村律子)

## コーナーの紹介

「紀要コーナー」各大学発行の紀要を約 12,000 冊配架しています。



紀要とは、大学・研究所・博物館などの研究機関が発行する研究論文・報告等を掲載した定期刊行物です。館内に設置しているパソコンで、C i N i i「サイニイ」(N I I 論文情報ナビゲータ)から紀要の電子情報を得ることもできます。

紀学同窓会より寄贈された図書を配架した紀学コーナーおよび本学教員の科学研究費報告書を集めた科研費コーナーを併設しています。

## オープンキャンパス

8月5日(日)に和歌山大学主催「オープンキャンパス」が開催され、1,500名以上の参加がありました。オープンキャンパスは、受験生や保護者・教員等の皆さんに和歌山大学の教育内容や学習環境を公開し志望校選択の参考にしてもらうための行事です。

和歌山大学附属図書館では、参加者に図書館の概要等のパンフレットを配布し、館内を自由に見学していただきました。見学入館者は、672名でした。



## 文献複写サービスについて

図書館内の資料を複写するサービスを行っています。内容は、次のとおりです。

受付時間 : 月～金曜日の9:00-16:30

料金(私費) : 学内者 1枚モノクロ20円、学外者 1枚モノクロ35円

マイクロフィルム等をリーダープリンターで複写する場合も同じ料金です。

学外への複写申し込みについては下記のページをご覧ください。

アドレス : [http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/frame\\_riyouhou.html](http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/frame_riyouhou.html)

館内1階に生協の複写機を設置しています。

カードは生協で販売しております。(図書館では、販売しておりません)

「文献複写申込書」を必ずご記入の上、著作権を順守してご利用ください。

新着図書情報

書名	著者	出版社
光学薄膜の基礎理論	小檜山光信	オプトロニクス社
図説都市デザインの進め方	佐藤滋 [ほか]	丸善
数学で物理を	武部尚志	日本評論社
吉原手引草	松井今朝子	幻冬舎
どの子も伸びる算数力	岸本裕史	小学館
トンボ博物学	P.S. Corbet	海游舎
貿易・貨幣・権力	田淵太一	法政大学出版局
基礎力学演習	後藤憲一編	共立出版
数理と社会	河添健	数学書房
ハワイアン・スピリッツ	三好和義	小学館
江戸時代の身分願望	深谷克己	吉川弘文館
英詩のわかり方	阿部公彦	研究社
日本の家	中川武	TOTO 出版
鉄道日本文化史考	宇田正	思文閣出版
被占領期社会福祉分析	菅沼隆	ミネルヴァ書房
格差で読み解く現代中国	王文亮	ミネルヴァ書房

他 497 冊入りました。

//編集後記//-----

後期の授業がはじまり、キャンパス内では賑やかさが戻ってきました。読書の秋です。

図書館を大いに利用してみませんか。なにかいい発見が見つかるかもしれませんよ。

図書館では、皆様とのコミュニケーションを図っていきたいと思っております。どんな些細なことでも結構ですのでご質問、お問合せ、ご感想等を下記アドレスまでお寄せください。良き交流の場にしていきたいと願っておりますので、よろしくお願いいたします。

(スタッフ一同)

\*\*\*\*\*

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7903

FAX：073-457-7919

e-mail：[unyo@center.wakayama-u.ac.jp](mailto:unyo@center.wakayama-u.ac.jp)



\*\*\*\*\*